

# 最近の経済情勢

## (県内企業経営状況調査の結果)

◇ 調査期間 令和5年11月2日～11月16日

◇ 対 象 県内企業500社対象  
・有効回答276社：回答率55.2%  
・内訳：製造業 250社(回答146社)  
非製造業 250社(回答130社)

◇ 方 法 Webアンケート

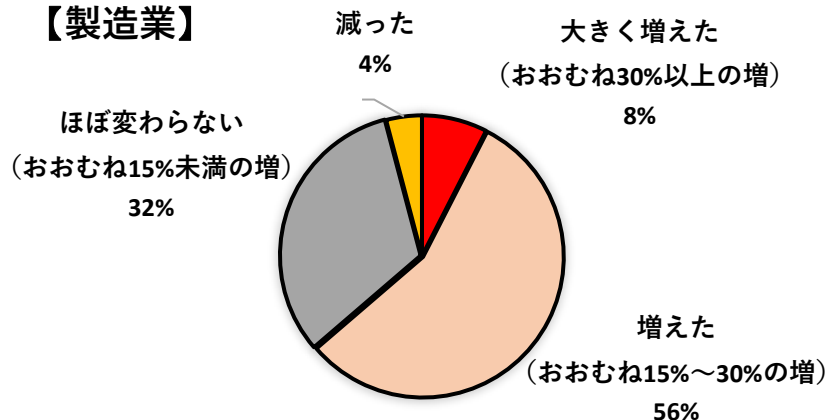


- 1 原材料・エネルギーコストの状況：①1年前との比較、②価格転嫁状況
- 2 業況：①現況、②3か月前との比較、③今後(3か月程度)の見通し
- 3 経営課題
- 4 設備投資：①取組姿勢、②予定している設備投資の目的
- 5 雇用状況：①従業員数の過不足の状況、②過不足職種
- 6 賃上げの状況：①令和5年以降の実施状況、②賃上げ率

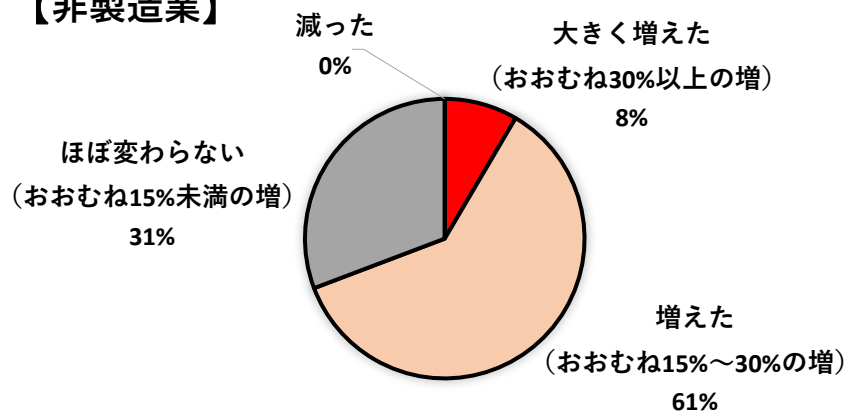
# 1. 原材料・エネルギーコストの状況 - 1年前との比較 -

- 「大きく増えた」と「増えた」を合わせた割合が、製造業で約6割、非製造業で約7割。
- 製造業では、前回より減少。非製造業では、前回と同水準。

## 【製造業】

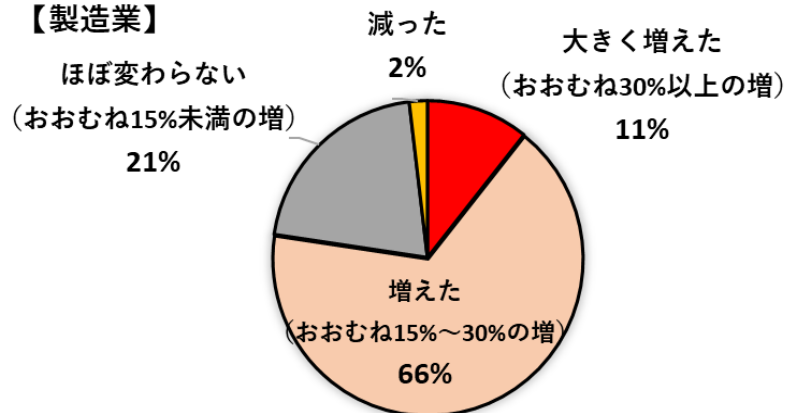


## 【非製造業】

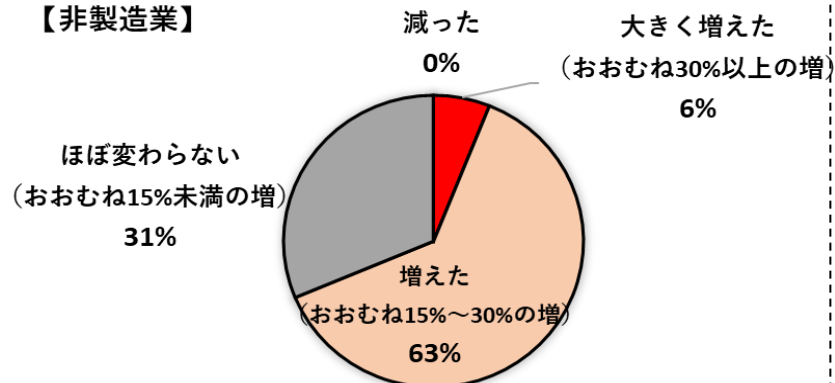


(参考) 前回(令和5年8月)調査時

## 【製造業】

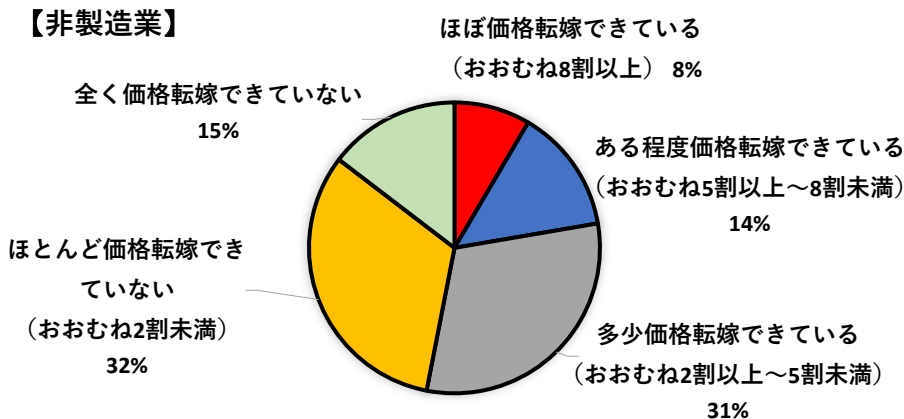
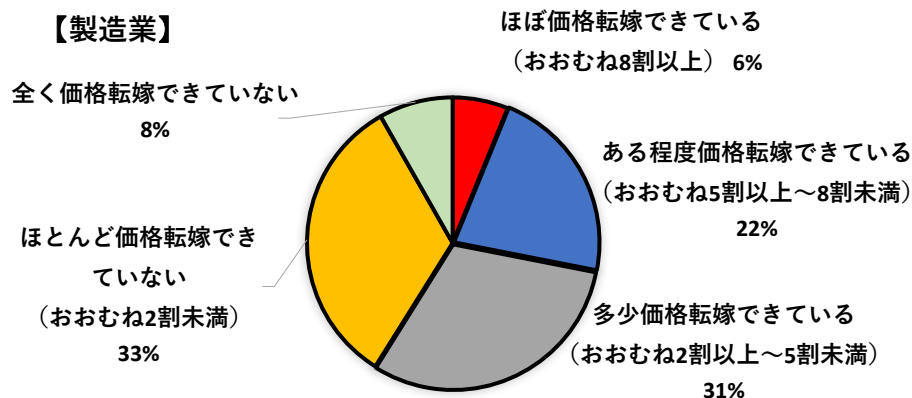


## 【非製造業】

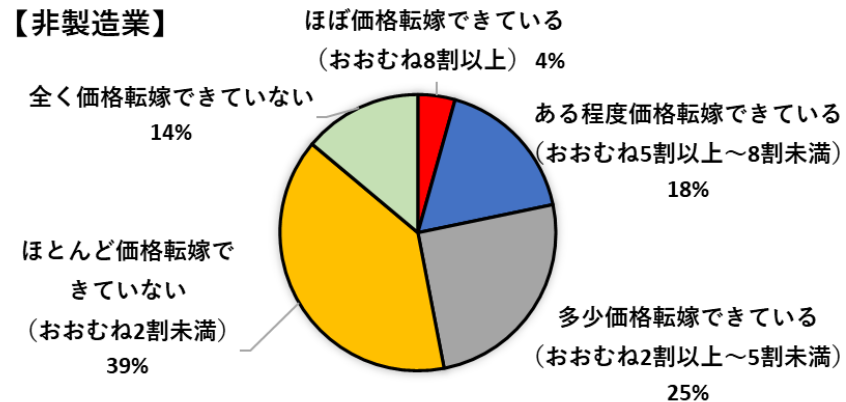
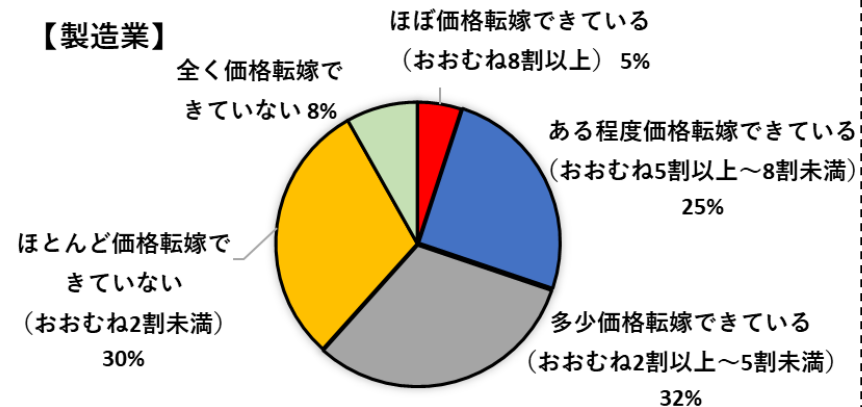


# 1. 原材料・エネルギーコストの状況 - 価格転嫁状況-

- 「全く価格転嫁できていない」と「ほとんど価格転嫁できていない」を合わせた割合が製造業で約4割、非製造業で約5割。
- 製造業では、前回と同水準。非製造業では、前回より減少。



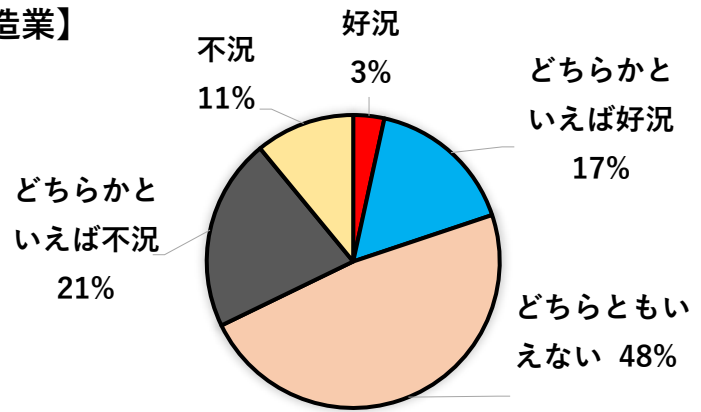
(参考) 前回(令和5年8月)調査時



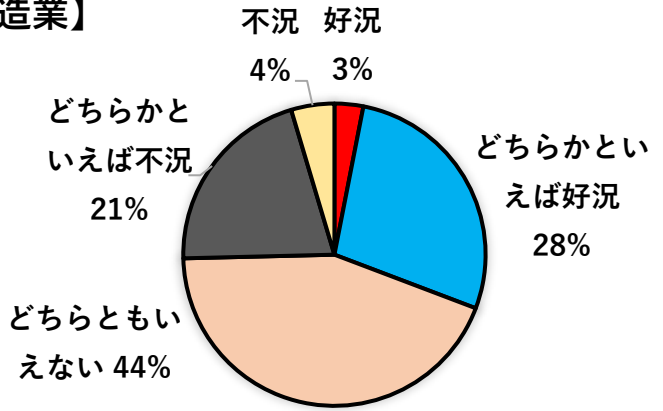
## 2. 業況 - 現在の業況 -

- 「好況」と「どちらかといえば好況」を合わせた割合が、製造業で2割、非製造業で約3割。
- 製造業では前回より減少、非製造業では前回と同水準。

【製造業】

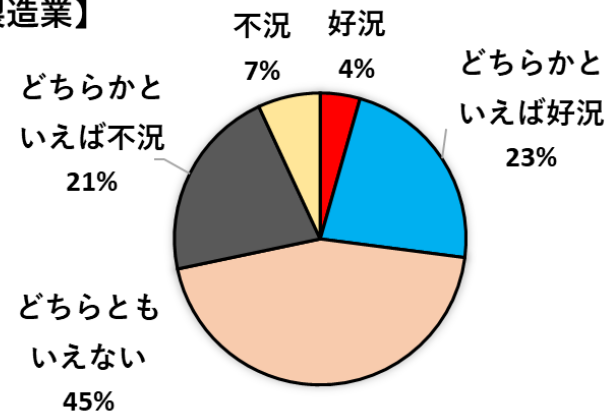


【非製造業】

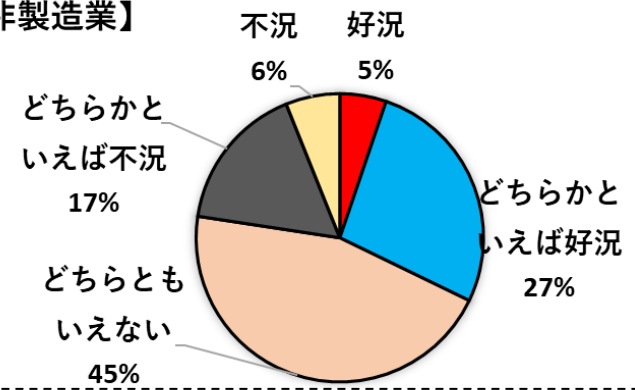


(参考) 前回(令和5年11月)調査時

【製造業】



【非製造業】

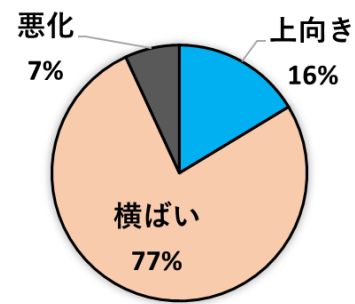


## 2. 業況 - 変化 (3か月前→現在→3か月後)-

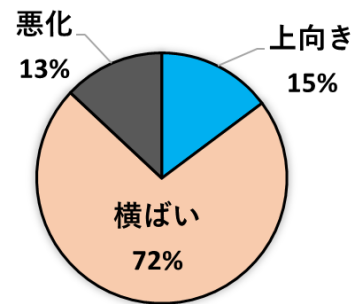
- 3か月前から現在までの業況は、前回調査時の予測と比べ、製造業では「悪化」が増加し、「横ばい」が減少。非製造業では、ほぼ同水準の結果。
- 今後3か月の業況は、製造業では、ほぼ同水準と予測。非製造業では、「上向き」予測が減少し、「横ばい」が増加と予測。

(参考) 前回(令和5年8月)調査時

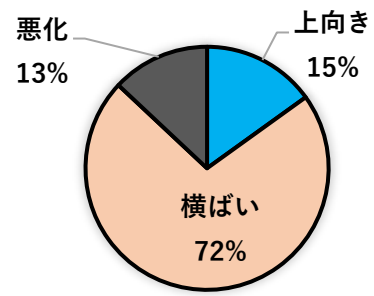
【製造業】業況の変化 (現在→3か月後)



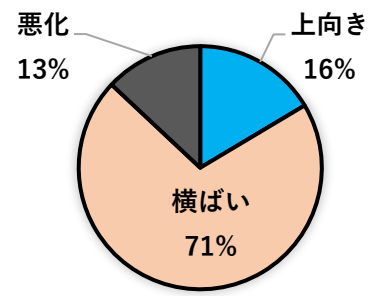
【非製造業】業況の変化 (現在→3か月後)



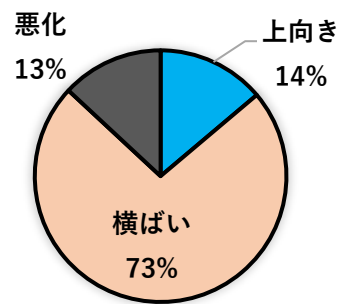
【製造業】業況の変化 (3か月前→現在)



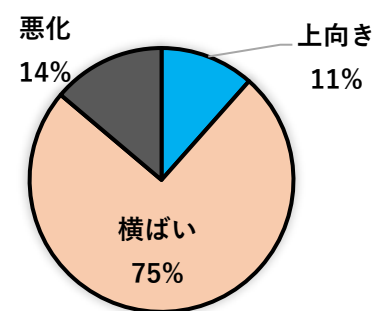
【製造業】業況の変化 (現在→3か月後)



【非製造業】業況の変化 (3か月前→現在)



【非製造業】業況の変化 (現在→3か月後)



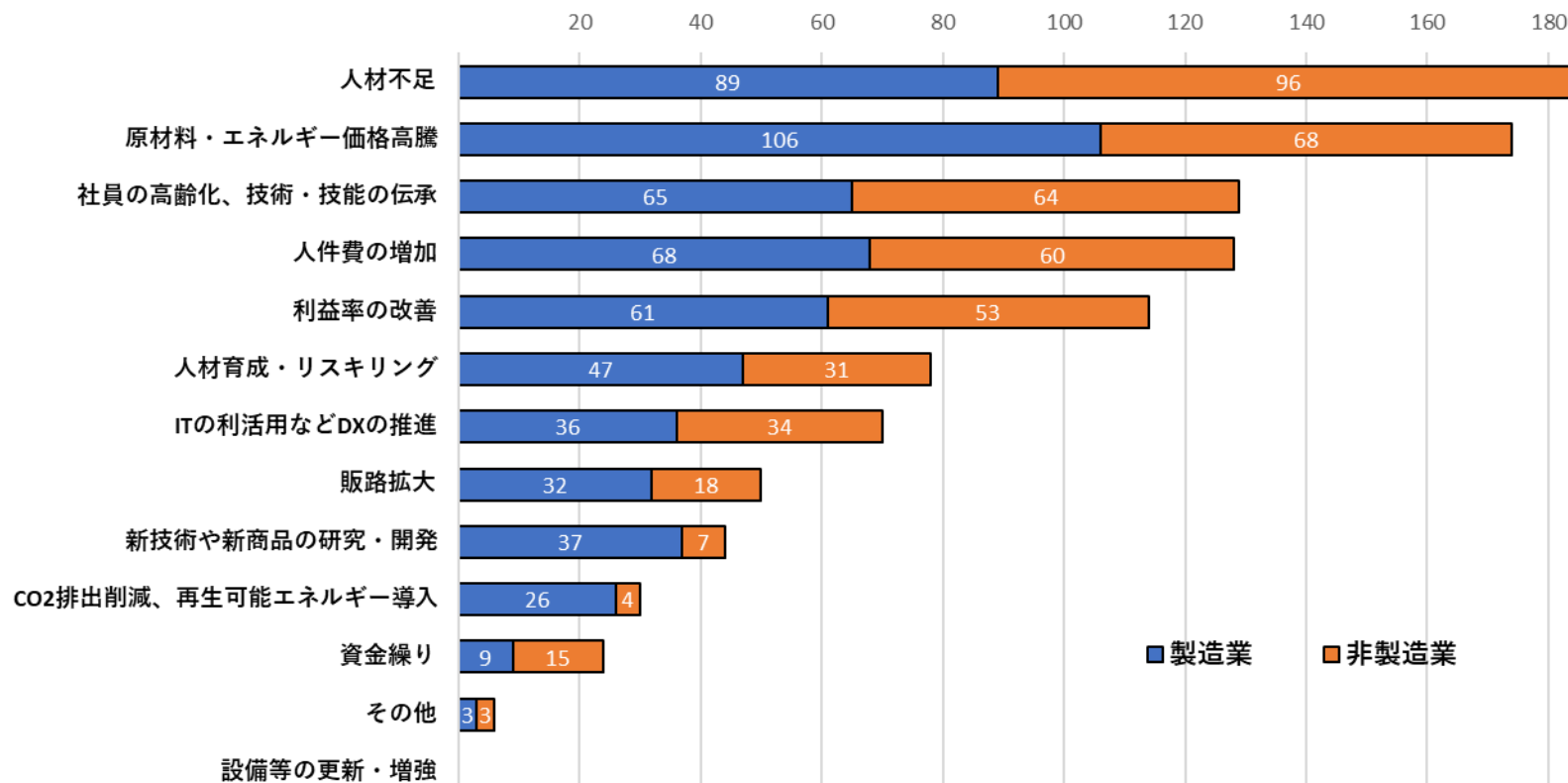
### 3. 現在の経営課題 (複数回答)

製造業

原材料・エネルギー価格高騰	106社 (73%)
人材不足	89社 (61%)
人件費の増加	68社 (47%)
社員の高齢化、技術・技能の伝承	65社 (45%)

非製造業

人材不足	96社 (74%)
原材料・エネルギー価格高騰	68社 (52%)
社員の高齢化、技術・技能の伝承	64社 (49%)
人件費の増加	60社 (46%)



### 3. 企業の主なコメント

#### 製造業

##### 【原材料・エネルギー価格高騰】

- ・資材費の高止まり、燃料費の高騰が続いているが請負単価への転嫁が困難。  
( 輸送用機械器具製造業 )
- ・原料高騰により製品規格の見直しの努力をしているが厳しい状況。  
( 飲料、たばこ、飼料製造業 )

##### 【人材不足】

- ・商品を増産したいが、作業員が不足。  
( 金属製品製造業 )

##### 【社員の高齢化、技術・技能の伝承】

- ・社員の高齢化、熟練工の減少を考慮し、工場生産管理のDX化を図る必要がある。  
( 窯業、土石製品製造業 )

#### 非製造業

##### 【人材不足】

- ・人材不足の為、派遣社員で何とか賄えている状態。  
( 宿泊業 )

##### 【社員の高齢化、技術・技能の伝承】

- ・求人を募集しているが、応募が少なく、かつ高齢化している。  
( 自動車小売業 )

##### 【原材料・エネルギー価格高騰】

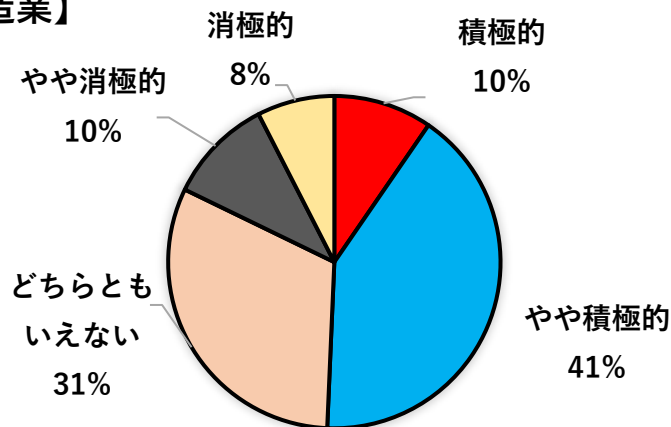
- ・全ての仕入れ価格が高騰しているが、それが転嫁できるほど契約額が増額していない。  
( 建物サービス業 )
- ・値上げをすると仕事が減らされ、荷主が価格転嫁に応じてくれない。  
( 一般貨物自動車運送業 )



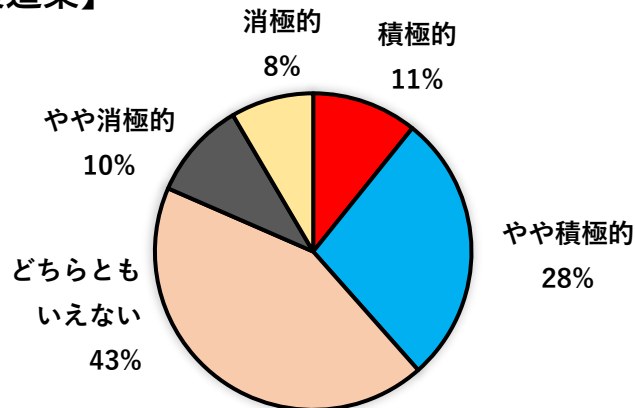
## 4. 設備投資 - 取組姿勢 -

- 「積極的」と「やや積極的」を合わせた割合が、製造業で約5割、非製造業で約4割。
- 製造業では、前回と同水準。非製造業では、前回より減少。

【製造業】

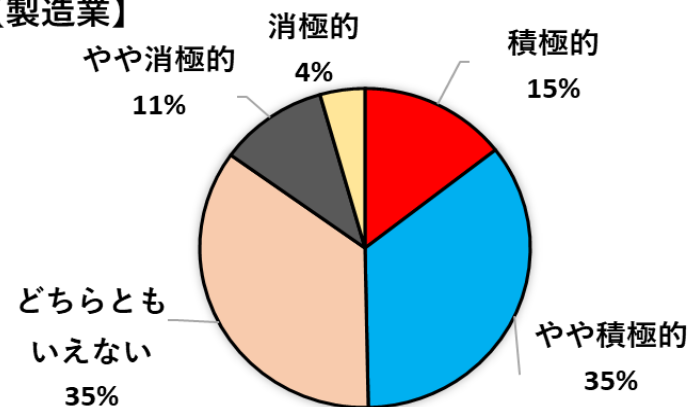


【非製造業】

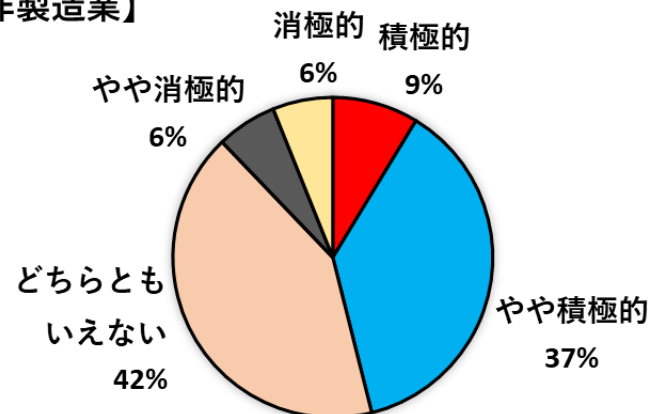


(参考) 前回(令和5年8月)調査時

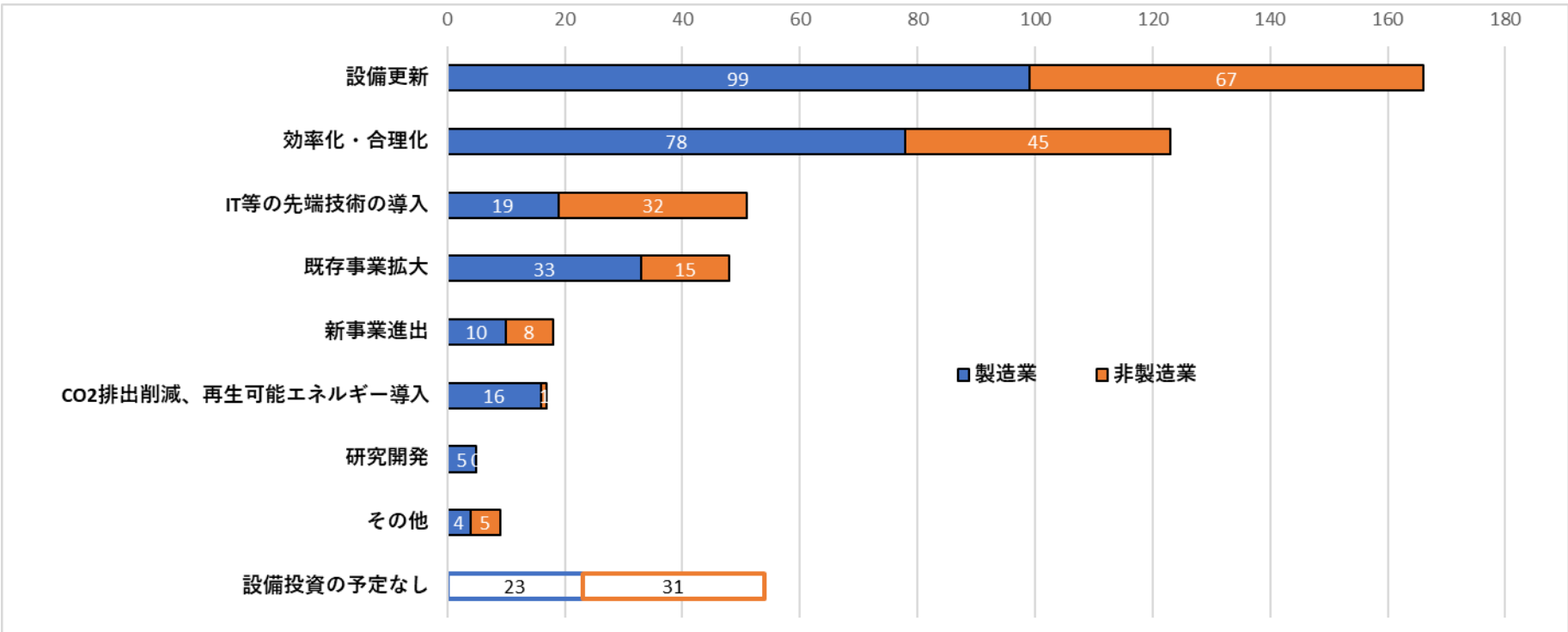
【製造業】



【非製造業】



# 4. 設備投資 - 目的 -



## 企業の主なコメント

・新製品の販路拡大のため投資を予定。

( 電子デバイス製造業 )

・人材不足のため、DX化を予定。

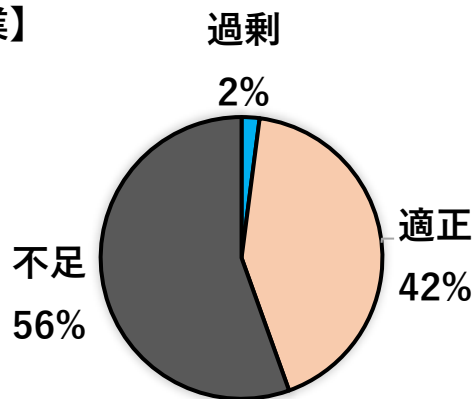
( 建設業 )

## 5. 雇用状況 - 過不足感 -

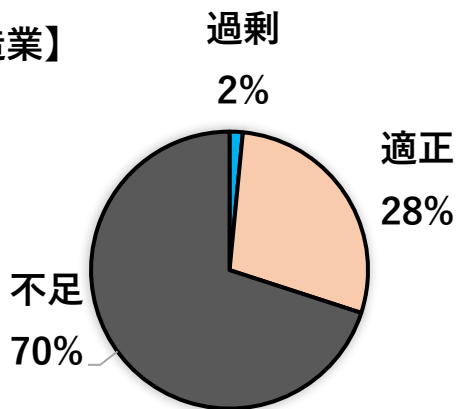
- 「不足」の割合が製造業は約6割、非製造業は7割で、製造業では、前回より増加、非製造業では、前回より減少。
- 「不足」職種の上位は、製造業で作業員(75%)、技能工(49%)、非製造業で専門・技術(42%)、販売・営業(32%)。

(複数回答、括弧内は「不足」と回答した企業中の回答割合)

【製造業】

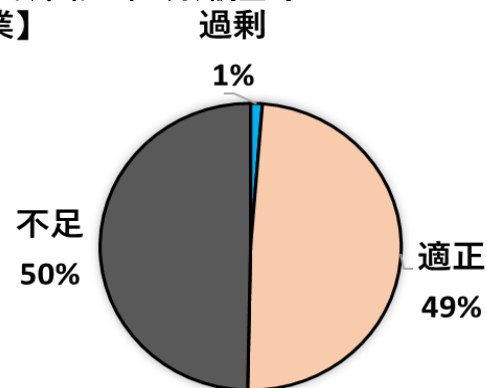


【非製造業】

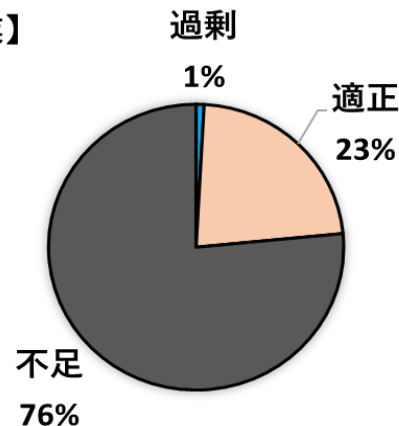


(参考) 前回(令和5年8月)調査時

【製造業】



【非製造業】



## 5. 企業の主なコメント

---

### 製造業

#### 「不足」

- ・給与水準を上げて工場スタッフの求人を行っているが応募が全くない。

( 食料品製造業 )

- ・新採の正社員は採用予定数に達したが、即戦力としての中途採用が集まらない。

( 輸送用機械器具製造業 )

#### 「適正」

- ・今後、即戦力の技術者については、中途採用も検討中。

( 非鉄金属製造業 )

### 非製造業

#### 「不足」

- ・日本人若年層の募集がない中、技能実習生の採用を検討中。

( その他の事業サービス業 )

- ・新採については例年並みを確保した。即戦力の中途採用が集まらず、現在も募集中。

( 総合工事業 )

#### 「適正」

- ・現在は、人手不足ではないが、従業員が高齢化しており、将来人手が不足する懸念がある。

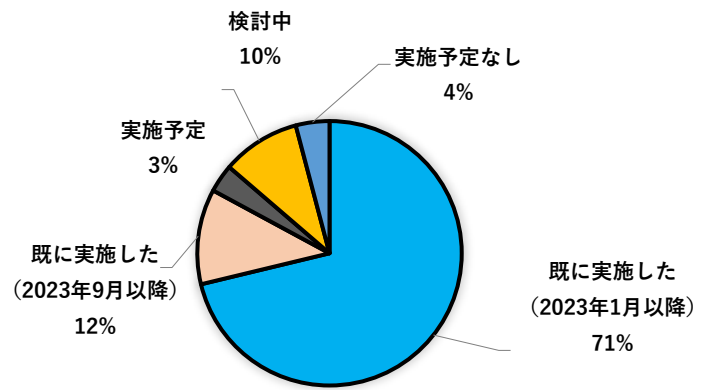
( その他小売業 )

# 6. 賃上げの状況 - 令和5年以降の実施状況-

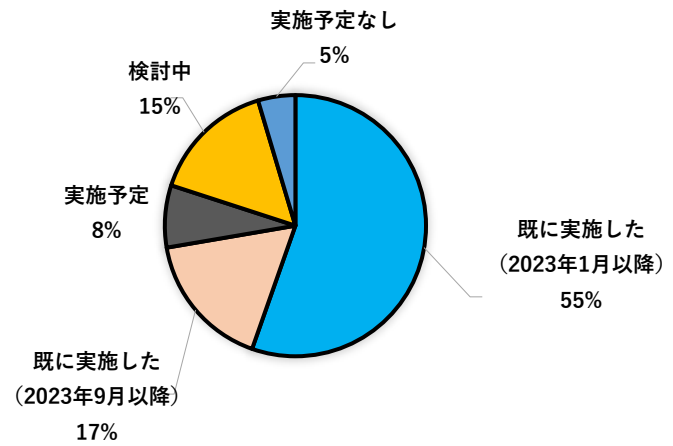
○ 「既に実施した(2023年1月以降)(2023年9月以降)」は製造業で約8割、非製造業で約7割。

※アンケート対象の一部変更を行ったため、調査結果との比較はできない。

【製造業】

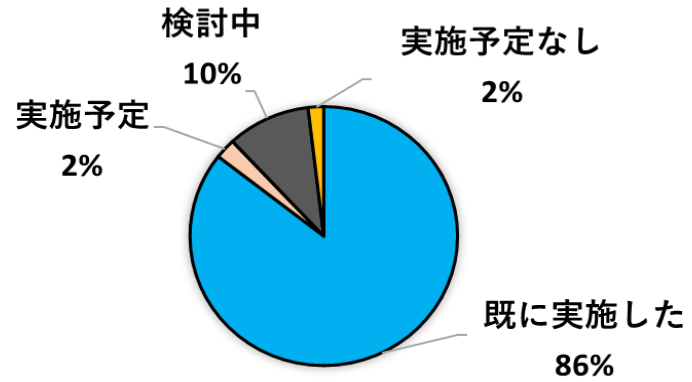


【非製造業】

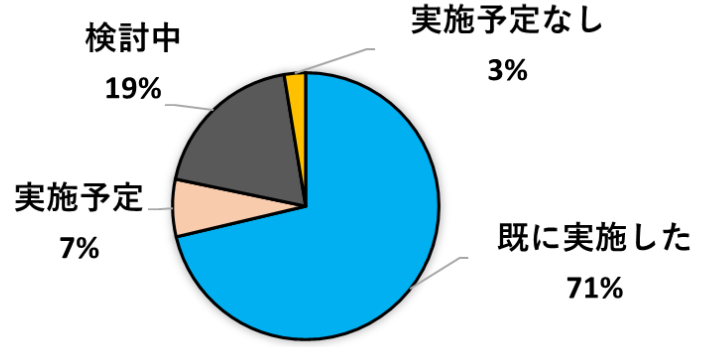


(参考) 前回(令和5年8月)調査時

【製造業】



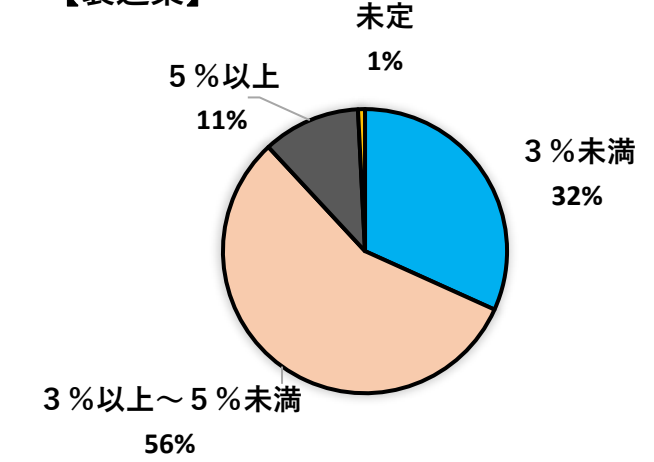
【非製造業】



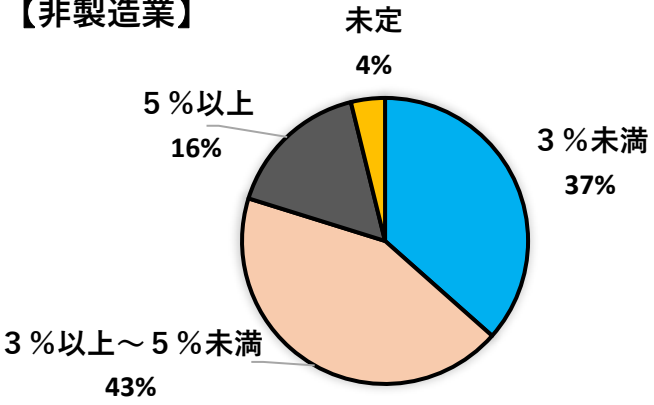
# 6. 賃上げの状況 - 令和5年度以降の賃上げ率-

○ 「既に実施した」と「実施予定」と回答した企業のうち、製造業で約9割、非製造業で8割が、賃上げ率「5%未満」と回答。

【製造業】

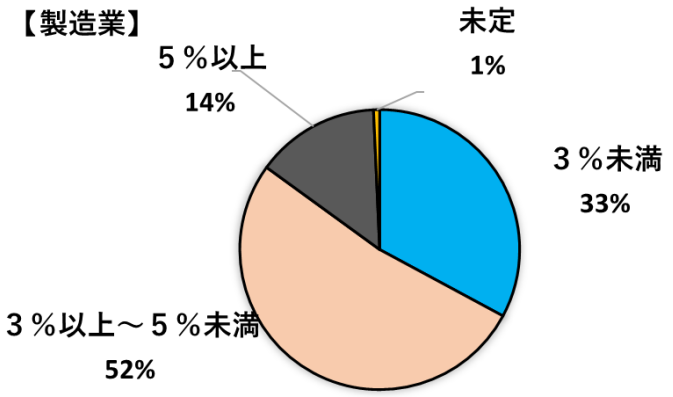


【非製造業】



(参考) 前回(令和5年8月)調査時

【製造業】



【非製造業】

